

ウォーターハウス記念館の

由来

米国の名門プリンストン大学文学科を卒業したウォーターハウス氏(Mr. Paul B. Waterhouse)は、早稲田大学英語科の講師として来日した。父は南カリフォルニアの別荘の町、サディナの市長であった。

彼はヴォーリス師に出会いその人格、働きに共鳴して近江伝道に協力するため米国ハートフォード神学校で3年間の修業を終え、来日して東京で1年間日本語を収得し、1913年10月6日に夫婦で来幡して自給独立の近江ミッションに加入、「神の国」運動の働き手となった。1913年5月ヴォーリス合名会社は社宅2棟を建築し、その内の1棟にウォーターハウス一家は入居した。

湖畔伝道船「ガリラヤ丸」の常時乗組員として、ヨットの操縦が巧みであったウォーターハウス氏は船長となり武田猪平牧師、西澤正治と共に、ヴォーリス、吉田悦蔵等と湖畔の村々町々をくまなく巡回伝道をしてキリストの福音の種を蒔いた。4年半の伝道活動後、

1918年3月、一旦、帰米し排日運動の盛んな米国で日系人の人権保護のため、4年間に亘り全州を東奔西走した。カリフォルニア州の日系人たちは感謝の気持ちを表すために感謝状と3000円を拠金して、立派な自動車を彼に贈呈した。

彼は、この自動車を近江における伝道用として米国より持参した。1922年5月、夫人と三児を伴い自給独立して伝道するため再びヴォーリス師の仲間に加わった。夫人の母ピーク女史も近江八幡に来て、近江伝道のため援助を惜しまなかった。しかし、1923年12月、永年熱心に福音伝道に従事した近江

を後に一家は神戸港出港

のエンプレス・オブ・ロシヤ号に乗船、アメリカに帰って行った。これは、長男ゴールドンが事故で亡くなったことや夫人の健康が優れなかったことが原因と言われている。近江の山間僻地まで、くまなく巡回伝道した福音の使徒ウォーターハウス一家を失うことは、近江ミッション及びヴォーリス師にとっては無限の寂しさを感じるものであったと彼の自叙伝に記されている。

一家が約6年間居住したこの建物は1000年弱経過した後もその姿をどよめ、福音の使徒ウォーターハウス氏を記念して近年まで「旧ウォーターハウス邸」と称し見学者が後を絶たなかった。財団法人近江兄弟社は2008年6月より傷みが目立ったこの住宅を全面修復し、2009年1月14日に竣工した。

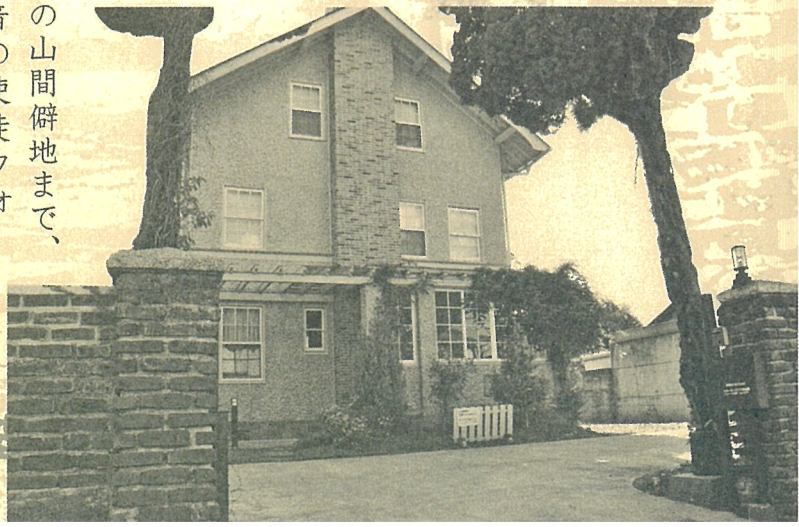
建物はアメリカの伝統的な建築様式であるコロニアル・スタイルで、三階建て11室あり、ビルトインタイプの暖炉が5ヶ所、煙突が2本有り、当時の美しいヴォーリス建築がよみがえり、この地域の洋館街の中でもひと際目を引いている。2009年8月に国の有形登録文化財に指定された。

ウォーターハウス氏一家の自給伝道活動を近江兄弟社の歴史に留めるためにもこの建物の名称を「ウォーターハウス記念館」といたしました。

公益財団法人 近江兄弟社

W.Mヴォーリス年譜

西暦	年号	年齢	できごと
1880	明治13	0才	10月28日、米国カンザス州レブンワースで、父ジョン・ヴォーリス、母ジュリア・ヴォーリスの長男として生まれる。
1902	35	21才	カナダのトロントで開かれた学生宣教義勇団の大会に出席、テラー女史の講演に感動し、外国伝道への献身を決意する。
1904	37	23才	コロラド大学卒業。宣教のため、ニューヨークの国際YMCA本部に就職先を依頼。
1905	38	24才	2月2日、近江八幡に到着。滋賀県立商業学校(現滋賀県立八幡商業高校)の英語科の教師となる。
1907	40	26才	アンドリュース記念館(八幡YMCA会館)建設。英語教師解職。
1908	41	28才	京都YMCAの一室で、建築設計監督開業。(後にヴォーリス建築事務所)
1910	43	30才	ヴォーリス合名会社設立。
1918	大正7	37才	結核療養所(近江サナトリウム、現ヴォーリス記念病院)を開設。
1919	8	38才	子爵一柳末徳(ひとつやなぎすえのり)の娘、満喜子と結婚。
1920	9	40才	近江セールズ株式会社設立。メンソレータム(現メンターム)輸入販売開始。
1930	昭和5	49才	母校コロラド大学よりLLD(名誉法学博士)を受ける。また、同志社大学社友に推薦される。
1934	9	53才	近江ミッションを近江兄弟社と改称。
1941	16	60才	日本国籍取得、一柳米来留と改名。
1954	29	74才	社会公共事業に対する功績により、藍綬褒賞を受ける。
1957	32	76才	7月、軽井沢で蜘蛛膜下出血のため倒れ、近江八幡の自宅に帰り、療養生活に入る。
1958	33	78才	近江八幡市名誉市民第1号に推される。
1960	35	80才	日米修好通商百周年に功労者として顕彰を受ける。
1964	39	83才	5月7日、7年間の無言の病床生活を終えて昇天。正五位勲三等瑞宝章を受ける。5月16日、近江八幡市民葬と、近江兄弟社葬との合同葬をおこない、遺骨は恒春園に葬る。



一般社団法人
近江八幡観光物産協会
http://www.omi8.com

近江八幡